

平成27年度第1回石狩浜海浜植物保護センター運営委員会会議録

- ◇日 時：平成27年10月19日（月）10時00分～12時00分
◇会 場：花川北コミュニティセンター
◇出席席：松島肇（会長）、安田秀子（副会長）、伊井義人、内藤華子、石山優子、原田京子
事務局：本間博人（センター長）、川村祐子（主査）
◇傍聴者：1名
◇議題
1. 平成26年度石狩浜海浜植物所護センター活動報告について
2. 平成27年度石狩浜海浜植物保護センター活動中間報告について
3. 石狩浜ハマナス再生プロジェクトについて
4. 石狩浜海浜植物保護センターの管理運営について
5. その他

◇議事

1. 平成26年度石狩浜海浜植物保護センター活動報告について

【事務局】（資料1説明）

【松島】

今の報告についてのご質問やご意見等ありましたら、よろしくお願いします。

4ページ目のいしかり海辺ファンクラブ協働事業に、「利用者マナーをまとめたパンフレットを作成するとともに」とあるのですが、すでに作られたものなので、文言を変えてください。あと、6ページに「幼稚園、小中学校への学習指導」とありますが、大学や教職員なども入っているので、教育機関への学習指導のほうが良いと思います。

【内藤】

これはHPにも載せるのでしょうか。載せるのであれば、誤字も直してください。

7ページの講話の話が平和の和になっている。

【本間】

活動報告書はHPに載せておりますので、修正します。

【伊井】

来館者数が26年の8月、9月が非常に伸びていますが、27年の8月はまた例年並みに落ちていますが、26年の8月には何かあったのでしょうか。

【本間】

月別の増減は検証していないので正確ではありませんが、昨年度は、学校など教育機関の利用が多かったのでそれが大きいのだと思います。比較的夏場の天候が良かった影響もあると思います。

【松島】

600人くらい違いますね。

【本 間】

学校から、かなりの数の問合せもあったので、おそらく学校の学習支援で多くなったと思います。また、気温や天気も記録しているのですが、そこまで詳しく調べていません。

【松 島】

天候や行事等の影響なのかな。

【伊 井】

気温や天気で数百人単位も違うものなのですね。

【松 島】

週末に天気が悪いと人が集まらないというのが大きいのかもしれないですね。

【伊 井】

平日に学校で来た子ども達が、週末に親と一緒にもう一回来るといったリピーター的な増加だったらすごく良いなと思います。

【内 藤】

去年は夏にクラフト教室をやっていましたね。

【本 間】

コンテストへの出品も兼ねて行っていました。

【安 田】

7ページの出前講座のところと、表1-3に石狩中学校が7月22日と10月9日とあるのですが、これは同じものなのですか。あと、石狩中学校は2回ほど、はまなすの丘公園の観察とジャム作りをしたと思うのですが、それはどれでしょうか。

【川 村】

同じものだと思っていたのですが、人数が合わないですね。

【安 田】

出前講座の講話と表中のものが同じだとすると合わないです。

【本 間】

そうですね。日付が合っていて人数が合わないので確認させて下さい。

【石 山】

来館者数で6月は、はまなすフェスティバルがありましたので要因が分かりますが、他の月もわかるような仕組みがこれから大事になると思います。

【川 村】

イベントなのか、普通に来たのかというので色分けしたものがあれば、なお良いということでしょうか。

【石 山】

そうですね。

【安 田】

ホールを使って展示もやっています。その展示がいつ、どのような展示をやったという今までのデータはありますか。

【川 村】

失礼いたしました。26年度のものが入っていませんでした。

【松 島】

それは確認してください。

15ページの保護・回復対策で「新たに指定した保護区において条例に基づく効果の検証を行ない」とありますが、効果の検証とは具体的にはどういうものなのでしょうか。

【本 間】

監視員を配置して、利用状況や植物採取、バギー車の乗り入れの有無などを確認しながら、1~2年状況を見ながら保護地区の拡大に向けて検討していきます。検証というよりも保護地区の監視状況を見ながら、というかたちで捉えたほうが正しいのかなと思います。

【石 山】

何時にあそこにいるとか、監視員の日々の動き方には何か規則はあるのですか。

【本 間】

具体的にこの時間はここで何をするようにとは伝えていないです。1日の間で石狩川右岸の聚富地区以外のところについて監視して下さいとしか伝えておりません。監視の業務というのは、保護地区での見張りや注意、ごみ拾いなどです。監視員の動きは日によってバラバラになると思います。

【松 島】

毎月パトロールをファンクラブでやっていますよね。そのパトロールの結果と監視員の結果と合わせて、車両乗入れ箇所が減っていれば良いのですが。

【本 間】

そうですね。ファンクラブさんでまとめたものについては北海道にも情報提供しています。あと市ではなかなかできない浜辺の防護柵の設置なども依頼しています。そういった情報も今後の保全活動につなげていきたいと思っています。

【松 島】

毎月パトロールのデータはどのように活用しているのですか。

【安 田】

どこのロープが切られていたとか、立ち入った跡が何件あったとか、保護地区を監視したものをまとめていただいたら情報として得られるので、助かります。

【松 島】

日報のようななかたちで提出してもらっているのでしょうか。

【本 間】

報告は月ごとにです。それは情報共有したほうが良いかも知れませんね。

【松 島】

ファンクラブさんと情報が共有できると、より効果的な対策ができるかと思います。ぜひ、よろしくお願ひします。昨年度の報告に関してはこれでよろしいでしょうか。

次の議題に移ります。平成27年度の石狩浜海浜植物保護センターの活動の中間報告について、事務局からお願ひします。

2. 平成27年度石狩浜海浜植物保護センター活動中間報告について

【川 村】 (資料2説明)

【松 島】

ただいまの中間報告のご質問やご意見等ございましたら、よろしくお願ひします。

【内 藤】

保護地区の指定は管理者とも拡大の方向で一致しているとのことですが、管理者との間で具体的なスケジュールはあるのでしょうか。あと、ただ広げるというわけにもいかないと思うので、親船地区の西側の全域とはいかなくても、石狩産業のヤードへの入り口の辺りまでなど、本来は監視エリアではありませんが、拡大に向けて監視員さんに侵入状況などを業務の中で見てもらうというのは検討できないものでしょうか。

【本 間】

監視員が自主的に親船地区の西側も監視をして、切られたロープなどを直していると聞いております。それと、ファンクラブさんと行なっている海辺パトロールウォークの結果を見ながら親船の西側の保護地区拡大に向けて進めようと考えています。

次回の石狩浜環境保全連絡会議で提案していこうと思っていて、実態がどのようになっているのかファンクラブさんと一緒にパトロールしているという状況です。あと、監視員の保護地区外の報告もいただいてはいるのですが、業務外なので詳しくははいたいでおりません。それも業務に入れるか来年度に向けて検討したいと思います。

私も現地で切られたロープや入った跡を見ているのですが、それ以上にあるのではないかと思っています。そして、監視員の動きを見ていると、結構ロープなどを持って保護地区外にも行っていますので、しっかりと情報収集して本当に拡大してもいいものか、市の負担の部分も合わせながら管理者と調整していきたいと思います。

【内 藤】

監視員さんがどこまでやっているのかによっても労力のかけ具合が変わってくると思います。一気に全部というのはすごく大変だと思うので、段階的に状況を見ながら広げていければ良いなと思います。

【本 間】

石狩産業のヤードが今回のパトロールウォークの範囲です。その範囲で拡大できるかどうか検討していこうと思っております。

【松 島】

効果の検証というのは難しいのですけれど、お願いします。

【本 間】

柵があればある程度の効果が出てくると思うので、どんどん指定しても良いのではないか

という見方もありますが、私の考えでは、石狩浜というのは人工物のない自然のままの姿が良いところだと思っていまして、皆さんのが守ってくれれば看板程度は必要かもしませんが、柵までは必要ないと思います。それならば、どんどんエリアを拡大していっても良いのではないかと思いますが、現実はそうではないので、そこまで市が負担できるか検討しなければいけない状況です。

【伊井】

共通認識として砂丘には入らない、というのを皆さんのが持っていたければ柵なんか必要ないですね。現状はそうではなくて、あそこで走ることを目的に来ている方もいるので、どういう利用を想定していくのか大きなビジョンが重要なかなと思います。あと柵を拡大したときに柵があることによる侵入を防ぐ効果もあるのですが、補修されずにいつまでもそこが開いていると、あまり人も来ないから利用が広がってしまうので、パトワーカークや監視員さんが頻繁にそこに行って切れていたら直すことで人の姿を見せることが大事だと思います。広げることでその労力が増えるかと思いますが、続けてやっていただければと思います。よろしくお願ひします。

【安田】

1枚目の表のミニ自然教室の定員に（120）とありますが、このカッコの意味は何ですか。

【川村】

想定人数です。

【安田】

2番目に企画展開催状況とあるのですけど、HPにこういう展示をやりますというのは載せていましたか。

【本間】

春先以降は更新出来ていません。

【安田】

せっかくやっているのでHPにも情報を載せたほうがいいと思います。

【本間】

今年は展示室の企画展示はバリエーションも少なかったので後回しにしてしまいました。寒河江さんなどの企画展示がありましたので、載せるべきでした。

【安田】

それは分かる様にしたほうが良いのではないでしょうか。寒河江さんの展示物とかを図書館等に出張展示をするのも良いのかなと思います。あと、9月10日に石狩中学校の授業をしたのですけど、それが載っていません。

【川村】

修正します。

【松島】

活動が増えてきて、まとめるのも大変かと思いますが、活動はもれなく記載していただき

たい。ＨＰのアクセス数が昨年度は月間1,000件以上、冬場でも900件くらいあるので、頻繁に情報をアップすることでより色々なところに情報が届きやすくなり、そこをめがけて見に行こうとすると思いますので、よろしくお願ひします。

【安 田】

ＨＰの更新というのも大変ですが、お願ひします。

【本 間】

昨年から観察園などの情報をブログ形式で頻繁に載せている状況です。そういうものも活用しながらきちんと更新していこうと思います。

【松 島】

カルチャートークは1回ではないですね。今月もあります。もれがないようにお願ひします。他には何か。

【安 田】

昨年度の報告にあった図書館と未来館の間の海浜植物の花壇は今年も継続しているのですよね。手入れはどのようにしているのですか。

【本 間】

毎月、普及員さんが帰り際に見に行ってます。私自身も雑草取りしています。あと道路側に図書館で整備した花壇の管理をしているボランティアさんにも水遣りなどを依頼しています。

【松 島】

結構手をかけなければ雑草だらけになってしまうのですよね。

【本 間】

そうですね。砂浜より土が良いので結構いろんな雑草が出てきます。

【松 島】

砂を入れることや、礫を積んでなるべく他の植物が生えないようにするとか。ハマヒルガオとかはそういう場所を好むので元気に育ちます。他の雑草は抑制されている感じですね。生きにくい環境にして栄養も上げないことで海浜植物の強さをより実感できると思います。

【安 田】

紅南公園に今まであった苗はそのままあります。

【本 間】

周りは雑草だらけですか。

【安 田】

そうです。私が行ける範囲で行っていますけど、雑草取りが追いつきません。そういう工夫をすれば少しは楽になりますか。

【松 島】

農業でマルチングというものがあります。地面を他のもので覆って雑草が入らないように

するというものです。そういう処理をしてあげると意外と他の雑草が出てこなくなります。

【安 田】

砂を入れると風で飛ばされてしましますか。もっとゴロゴロしたもののが良いでしょうか。

【松 島】

場所によりますが、砂礫という少し大き目の砂利のようものとか、砂でもいけないことはないと思います。閑上では海砂花壇っていうのを作っています。ただし、それだとしばらくすると塩気が抜けてしまい、周りのものが入ってきてしまいます。

【石 山】

1番のナイトウォーク、子どもの参加人数がわからないです。あと、3番目のところに7月の中に1個だけ9月22日が入っています。

【川 村】

修正します。

【松 島】

もしほかにお気づきの点がありましたら事務局のほうにご一報いただければと思いますので、ぜひまた目を通していただきたいと思います。よろしいでしょうか。

次の3番に進みたいと思います。石狩浜ハマナス再生プロジェクトの進捗状況等について事務局からご説明お願ひします。

3. 石狩浜ハマナス再生プロジェクトについて

【川 村】 (資料3説明)

【松 島】

最後の助成金の話ですが、平成27年度で終了するということですか。また、このあとは再び申請するというのは可能なのでしょうか。

【川 村】

同じものではできません。ですが、一番お金がかかったウッドチップの部分が今年度で終了したので、今後の経費はこの3年間ほどは必要ないかなと思っています。

【松 島】

資金の継続はできそうですか。

【川 村】

はまなすサポーターさんによる整備を行なっていますが、もう少し人手がいるというところです。

【石 山】

来年度助成金を新しくすることはできないですか。

【本 間】

基本的にフェスティバル等のイベント関係の予算であれば、市の予算は確保できると思っています。ただ助成金をもらうとなるとプラスαで何かをしないといけないと思いますので、皆さんのご意見もいただければなと思っています。

【石 山】

人件費にあてられる助成金は無いのですか。

【本 間】

人件費、ハードものはなかなか付くものはありません。

【伊 井】

ハマナスティーとハンドクリームとハチミツというのは利益を出すのは難しいとは思うのですが、何パーセントかが保全活動に活かされるような契約関係を結ばれているのですか。

【本 間】

結んでおりません。再生園で採れた花びらや実は試作品用として提供しています。ただし、サポーター登録をして再生園の整備もしていただいています。なお、お茶の土倉さんがハマナスの花びらを使ったお茶の製品化を行っており、代わりに冷凍庫を寄贈していただきました。こちらでも来年度用に冷凍保存してあるので必要かなと話したところ快く提供していただきましたが、あまり金銭的なことはしていません。

【伊 井】

何か契約関係があっても良いのかもしれませんですね。

【本 間】

そうですね。ただ、相手方も利益を出すというのは難しいのではないかと思い、そこまで行っていない状況です。

【伊 井】

始めるときに申し合わせ書の様なものは取り交わされるのですか。

【本 間】

特に無いですね。

【松 島】

ハマナスプロジェクトの商品開発のことですけど、ハマナスティーの開発のために実際に花びら摘みを行なっているのは、ボランティアなのでしょうか。

【本 間】

26年度はファンクラブや市の職員などほとんどボランティアで採って、土倉さんにお渡ししていたんですけど、今年度は土倉さんの社員だけで採っていました。

【松 島】

再生園で採取した花びらをお茶にして販売されているということですよね。管理にはどれくらい土倉さんは関わっていらっしゃるでしょうか。

【本 間】

花びらを探すことだけ真剣になってしまい再生園まで手が回らない状況でした。来年度以降は再生園の整備もしていただこうと思っています。

【松 島】

管理が大変なので、そこはちゃんとしていかなければならぬと思います。

【石 山】

土倉さんが探っていた量も気になります。再生園だけではなく、無事の民像のところにも来て沢山探っていました。その辺のルール作りが大事かと思います。

【本 間】

土倉さんには試作品であれば提供します、と言っていたのですが、26年度にいきなり商品化しまい、原料が結構いるという話になりました。去年の段階では商品化するにあたっては、農家さんと契約して原料を確保してくださいという話はしてあります。しかし、すぐに原料が採れるわけではなく、石狩浜に咲いている花びらを探ってしまっているのが現状です。その辺の整理をしなければといけないのだと思います。

【松 島】

企業がやっていることは利益を出すことが大きな目的だと思います。それは市や北海道の財産であり、市で整備をしているところで採られたものを商品として売り出しているわけですから、大きな問題になる前にきちんとしたルール作りというのが絶対に必要だと思いますので、早めに考えていただきたい。

【内 藤】

昨年は試作みたいな感じでスタートしましたけど、今年はそれだけ採るということはよく売れたのですか。

【本 間】

昨年は、ハマナスの他にハッカとラベンダー、トウモロコシの4種類作られたのですが、ラベンダーとハマナスの売れ行きが良くて、道産子プラザとかに置けるくらいの人気があるそうです。ただ、土倉さんは卸しなので、どれだけの売り上げがあるかは分からず、数字は教えてくれません。

【内 藤】

今年も卖れたら来年も採りに来るのですね。

【本 間】

そう思います。

【伊 井】

文書を取り交わした方が良いのではないか。もう商売になっていますから。

【松 島】

そうですね。上限設定や売り上げの何パーセントかを環境保全に還元されるような仕組みは可能なのでしょうか。

【本 間】

企業と市が協定を結ぶということは可能だと思います。今の話でそのようにしなければいけないと感じました。

【安 田】

大量に必要なのでしょうからハマナス畑を作れるような農家さんを紹介することも必要になってくるのではないでしょか。

【松 島】

そうですね。採取用の契約農家みたいな方を紹介できれば、産業として地域にも貢献できのではなかいか。

【本 間】

そうすれば、目標のひとつでもある地域振興にも繋がるプロジェクトになると思います。

近くの農家さんが栽培してくれたら良いのですが、農家さんに聞いてみなければ分からぬいのですが、ハマナスだけ栽培するというのはどうなのでしょうか。

【安 田】

上出ファームさんとかが実績ありますね。ノウハウいただきながらできる方がいらっしゃれば良いですが。

【川 村】

上出ファームさんに電話しましたけど、代表の方が亡くなり全然生産ができていないにも関わらず、今年は全国から問い合わせが結構来ていたらしいです。「商品開発にハマナスがちょっとしたブームになっているのではないか」と息子さんが言われていました。今年は保護センターにも色々問い合わせが来ていたので、上出ファームさんの販売が少なくなるとこちらにもニーズがくると思いますので、ルール作りはしていかなければならないと思います。いま、コムズファームさんという農家さんがハマナスに興味を持っていました。低温で乾燥させる機械があるので、試作をしてもらっています。他にも、はるきちオーガニックファームさんで15株ほどやってみたいと言われています。そこからどう広がっていくかは分かりませんが、今後、プロジェクトの実行委員会で揉んでいかなければならぬと思います。

【内 藤】

何年か前に農業支援センターでハマボウフウの栽培を試験的やっていたと思うのですが、同じようにハマナスの栽培を取り組んでもらうことは可能なのでしょうか。

【川 村】

前任の高松さんが保護センターの後に農業総合支援センターに行かれました。そのときにハマボウフウを試験圃場でやり、農家さんに広げようとなつたのだと思います。

【内 藤】

とりあげられたのは人がいたからということでしょうか。

【川 村】

そうです。それに、ハマナスを販売するほどやっていくとなると、かなりの手入れとかがあります。

【内 藤】

石狩流のノウハウをその農業支援センターで確立すれば農家さんも手を出しやすくなるのかなと思います。今の段階だと手法が確立されていないところが否めない。

【石 山】

岩見沢のバラ園に行ったときにハマナスのところはほとんど手をかけなくともあまり雑草も生えないと言っていましたが、再生園だから雑草とかハマナス以外のものが生えるのでしょうか。

【松 島】

土の中にもともと種が入っていることや周りから入ってくるからだと思います。あと、大きくなっていくと周りに光が届かなくなり、芽が出なくなるのですが、今はまだかなり下まで光が届いている状態です。

【石 山】

そこまでぎゅっと密集して生えているわけではないので、農家さんみたいに土が出来ているところに植えればそこまで雑草は生えないのかもしれませんですね。

【松 島】

農家であれば管理はしっかりしますし、むしろ肥沃なのでハマナスが大きくなる。中央分離帯でも1メートルを超えるような大きさになります。

【本 間】

農家さんにとっては利益になるかどうかが一番心配なところかと思います。試験的に栽培してもらい（出来るのであれば、乾燥機で乾燥させて）、原料を供給してもらう。そういう体制を作れば少しは変わると思います。まだ話をかけたばかりですが、コムズファームさんも興味津々なので、農家さんというよりもそちらを当ってみようと思っていますので、その辺を実行委員会等皆さんと協議していかなければなと思っています。

【内 藤】

そういう展開が必要なところに来ているので、ぜひ、お願いします。

【松 島】

一つとしては、観光と協力しながらハマナスの活用を進めていく、検討していくということ。そして、上限設定あるいはルール作りをすること。こちらは早急に取り組んだほうがいいと思います。

【伊 井】

ティーセレクションには石狩産と入っているのでしょうか。

【本 間】

パッケージの横にこの再生プロジェクトに協力しています。と入れていただいています。

【安 田】

北海道産みたいな記述ですよね、石狩までは入ってないです。

【本 間】

石狩とまでは食品表示法などの関係で書けないと言っていました。

【松 島】

せっかくですので原材料ではなくても名前に石狩浜と付けるなどしていただきたいですね。よろしいでしょうか。

次、議題の4のほうに移りたいと思います。海浜植物保護センターの管理運営について事務局のほうからご説明お願ひします。

4. 石狩浜海浜植物保護センターの管理運営について

【本 間】 (資料4 説明)

【松 島】

詳細はモデルとしている自然学校ねおさんとの荒井さんが運営委員に入っていますので、荒井さんがいるときに直接ご説明していただいたほうが皆さんも理解しやすいかと思います。只今、事務局よりご説明がありました、全体の考え方や枠組みについてご意見やご質問等ありましたらよろしくお願ひ致します。

【本 間】

ファンクラブさんに委託するということで、先月、ファンクラブさんと打ち合わせをさせていただいたのですが、今後は毎月1回打ち合わせをしてその結果も次回の運営委員会でご報告させていただきたいと思います。

【伊 井】

運営イメージ図についてなのですが、P D C Aサイクルの面でチェックの部分が実績報告を石狩市にして、それに伴って、事業費が翌年度に出てくるということだと思うのですが、その際に保護センター運営委員会と石狩市との関係はどういう位置付けになるのでしょうか。

【本 間】

当初は別と考えていたのですが、運営委員会は条例で縛られています。基本的には市が運営委員会を設置して、この運営委員会の中でP D C A等をチェックする体制でいこうと思っています。

【伊 井】

運営委員会はある程度、市に答申をするのでしょうか。

【本 間】

そうですね。次年度の事業計画も審議しますし、当該年度の事業の実施状況もチェックして市に報告してもらおうと思います。

【伊 井】

運営委員会には海辺ファンクラブの方も入られていますが、内部評価的と外部評価のどちらになるのでしょうか。

【本 間】

本来であれば外部にしなければいけないところですが、条例によると、運営委員会は石狩海岸を保全している団体で組織するものとなっていますので、海辺ファンクラブの方も入ります。

【伊 井】

その辺の整備が必要ですね。

【松 島】

条例は改正せず、同じく市長が委嘱する形で開かれるということですね。

【本 間】

ソフト部分の委託だけでは条例改正は難しいと思います。ですので、指定管理者制度を導入するときに併せて条例等を全部一緒に変えたいと思っております。しばらくはそういった形で進めて行かざるを得ないと思っております。

【松 島】

関係者を含めるか、関係者は説明員として参加してもらうことによって、委嘱に関しては市である程度コントロールできると思います。

【本 間】

あとは外部の有識者という形で、それは運用の中で出来るかと思います。

【松 島】

今後、その辺も細かく決めていくことになるでしょう。他にはないでしょうか。

【原 田】

保護センターの管理運営ではありませんが、先ほどのお話で出た、土倉さんが花摘みで無辜の民像のほうまで来ていたという話から、ガイドボランティアに所属している立場として保護地区は避けて欲しいと思います。あそこもロープを張って入られないようにしてありますよね。

【松 島】

あそこは保護地区にはなっていないですね。

【本 間】

道路から川側は保護地区にはしていません。保護地区は海側だけです。

【原 田】

ロープを張っているから保護してもらっているという感覚でした。

【本 間】

海水浴時期に車を違法に止められないようにロープを張っているのだと思います。

【原 田】

海水浴時期の後にも人は来ていますがロープをはらないのでしょうか。

【本 間】

交通整理のためであり、花の採取を防ぐためではないと思います。川側は保護地区には指定していないので、それとは別な柵と考えてもらえばいいと思います。

【原 田】

あそこや、はまなすの丘公園のハマナスも保護して欲しいと思います。企業との接点という意味では一線を画して欲しいと思います。

【松 島】

ハマボウフウと同じように採り尽されてしまって、ハマナスを見に来ても葉っぱしかないということになりかねない。土倉さんはよくてどうしてうちはだめなのだという業者も出てきて対処できなくなっています。

【原 田】

片方で再生して増やそうとしていて、もう片方で荒らされていくというのが矛盾している感じですね。

【松 島】

そうですね。

【原 田】

先ほど保全では人の目が大事と言う話がありましたが、見られていると出来ないという心理や罪悪感があるので、パトロールや監視、他のボランティアも行なっています。私達も暇なときには見回りをして歩くのですが、そこまで行くのも大変なので、本町地区に住んでいる人達のほうが普段から目が届くので見回りなどをしていただくのが理想だと思っています。あと、団体の数がでていましたが、学校とかの保護センターの活動を知りたい人達からアクセスして来ているのでしょうか。それとも保護センターから学校とかにこういう活動やっていますと紹介しているのでしょうか。

【川 村】

H P等にセンターで出来ることを出していますし、教育機関であれば市内の小中学校には環境教育としてのメニューもお知らせしています。

【原 田】

わかりました。

【内 藤】

イメージ図を出していただいた事ですごく分かりやすくなりました。学校対応やボランティア育成も保護センターの従来の運営業務に入るという頭でいたのですけども、それはプラスαのほうになり、交付金が当たられるということでしょうか。

【本 間】

予算付けしやすいと思い、運営の部分と分けましたが、それが本当に良いのか皆さんのご意見をいただければと思います。

【石 山】

図の中の事業実施の部分に当てるということですか。

【本 間】

そうです。

【石 山】

各種事業の実施のところが別になるのでしょうか。ファンクラブ独自の活動にも交付金を当てるということではないですよね。

【本 間】

それが保護センターの運営に必要だというものを入れていただければ良いです。ファンクラブさんが独自に実施していたものでも、センター事業としてより良く事業展開するのであれば良いと思います。

【松 島】

実際に共催でやっているカルチャートークとかも。

【本 間】

予算にも上限があるのであまり期待されると困りますが、基本的にはそういうことでいいと思います。ただし、ファンクラブさんとして独自にやりたいという事業は独自にやっていただいて構いません。保護センターの運営、石狩浜の保全に重要な事業に必要なものをあげてもらえば構いません。ファンクラブさん独自にやっているものはだめということはないので、ファンクラブさんの中で決めていただければと思います。

【松 島】

コーヒー カードを販売するなどの収益事業は可能なのでしょうか。

【本 間】

出来るとは思いますが、コーヒーの部分は委託とは別に行政財産の目的外使用として許可をし、使用料を徴収することになります。

【石 山】

使用料を払えば販売は出来るのですよね。

【本 間】

単純な飲み物と保全のための普及啓発の物販であれば問題はないと思いますが、条例を変えなければいけないのか、今のままでもいけるのかは、はっきりしていません。

【石 山】

開館期間の変更をするときには条例の変更は要るのでしょうか。

【松 島】

市長が認めれば。

【本 間】

そのつど言っていただいて、こちらで検討することになると思います。

【松 島】

お時間のほうも迫ってきています。これについては年内ですか。

【本 間】

出来れば、年内の開催を検討します。

【松 島】

それまでにファンクラブさんとも打ち合わせをしていただいて、その結果も含めて、次回はより具体的な話し合いをしていきたいと思いますので、よろしくお願ひします。

では、議題の5、その他として何か事務局のほうでありますか。

5. その他

【本 間】 (来年度予算について説明)

【安 田】

予算の締め切りはいつ頃ですか。

【本 間】

まとめるのは、来月中頃かと思います。こういう事業があったほうがいいとか、協働事業に対してもっと支援が欲しいとかでも何でもいいですので、お願ひします。

【安 田】

11月の中頃ということは10日くらいですか。

【川 村】

今月中にもらえたほうがいいですよね。

【本 間】

市と協定を結んでカントリーコードの配布などを行いましたが、今年は全く予算がない状況でした。来月に開く石狩海岸フォーラムも同様で市からの支援がない状況でありますので、そのあたりも含めて必要なものがありましたら言っていただければと思います。

【伊 井】

本来はこの時期の運営会議はそれがメインですよね。

【本 間】

そのとおりですので、反省しています。

【内 藤】

ふるさと海辺フォーラムに毎年行かれていますが、そろそろ石狩でという話しが出るかもしれない、石狩で行うとなったときにファンクラブ主催で行なうのは難しく市の助けが必要だと思います。

【本 間】

確か、来年は秋田と聞いています。

【川 村】

今年のふるさと海辺フォーラムの時は石狩という話はありませんでした。

【本 間】

そろそろ石狩で開催する時期ではないかと思いますね。

【内 藤】

それも予算のなかでお願いします。

【本 間】

市が主体になるか、共催になるのか分かりませんが、そのときには予算要求しておかなければいけませんね。ファンクラブさんに運営を委託していますので、ファンクラブさんでという話にはならないと思います。

【内 藤】

そうですよね。人的な部分とか予算が発生してきますから。

【本 間】

重要なところはファンクラブさんに担ってもらうことはあるかもしれません、その辺は今までどおりになるかなと思います。

【松 島】

よろしいでしょうか。お時間のほうも迫って参りました。用意した議題は以上となります。活動報告ご覧いただいて、これから活動にご意見いただければと思いますので、よろしくお願いします。事務局のほうにお返しいたします。

【本 間】

長時間にわたりありがとうございました。

次回については早めに開催をしたいと思います。年内にということで考えていますので、またご案内させていただきたいと思います。

今日はどうもありがとうございました。

議事録を確認しました。

平成27年10月26日

石狩浜海浜植物保護センター

運営委員会会長 松島 肇